

産業文教常任委員会記録

1 委員会を開催した年月日、場所及び時間

令和7年3月18日（火曜日） 議会第1委員会室

午後1時30分 開議 午後3時10分 閉議

2 出欠委員の氏名

委員長 浜 名 等（○）

副委員長 松 田 義 人（○）

委 員 岡 本 佐 市（○）

〃 寺 井 哲 也（○）

〃 櫻 井 英 一（○）

〃 新 田 義 昭（○）

〃 浅 野 俊 二（○）

議 長 山 本 泰 夫（○）

3 傍聴した者 なし

4 出席した説明員

岸市長、川口副市長、八島教育長、前田産業建設部長、寺井環境安全課長、山本農林水産課長、政氏商工観光課長、田中地域整備課上下水道担当課長、中島教育次長、関軒企画振興室長、西村生涯学習課長、牧山文化財課長
※市長はあいさつ後、退室（午後1時32分）する。

5 出席した事務局職員

事務局長 岡嶋 克己、事務局次長 松田 秀治、係長 澤田 朋子

6 会議の概要

浜名委員長のあいさつにより会議を開く。以後、進行も行う。

岸市長からあいさつがなされ、その後、退室する。

次に、付託表に基づき執行部から説明を聴取し、その後、質疑・答弁がなされる。

終了後、採決に入り、議案3件はいずれも賛成全員により可決すべきものと決した。
陳情1件については聞き置く。

次に、付託案件以外の委員会所管事項について、質問・答弁がなされる。

次に、委員会における継続調査の申し出を議長に提出すること、併せて、委員会報告については、委員長に一任することを決定する。

最後に、浜名委員長が閉会のあいさつをし、会議を閉じる。

詳細は、別紙「委員会審査結果」のとおり。

7 主な質疑・応答等

【付託案件等に対する主な質疑・答弁】

櫻井委員:羽咋まちづくり株式会社について、役員報酬が前年に比べて増えているが、これは何人分なのか。

政氏商工観光課長:3人分の報酬である。

櫻井委員:経営方針が不明確である。経費削減と人件費増加のバランスが取れていないように見える。経営方針をどのように聞いているのか。

政氏商工観光課長:令和6年4月から賃金体系が見直され、パートや一般の従業員の報酬も上がっている。経営方針としては、昨年度の商品販売の拡大やコンテナカフェの導入などに先行投資しており、それを基に頑張っていくと聞いている。

櫻井委員:売上向上には従業員の働く意欲を高めることが重要であり、実績により人件費を上げることは必要だと思う。しかし、この予算では目標達成は難しく感じる。最終的に経営が悪化した場合、役員が責任を持つことを伝えておくべきである。

新田委員:役員報酬が増える理由が理解できない。額も大きすぎるのではないか。

政氏商工観光課長:令和7年度が増えたのは、1月から3月の給与が、昨年度は旧の報酬額、今年度は新たな報酬額が適用されているためである。また、ふるさと納税の市の委託料が減少したことも影響している。

山本委員:羽咋まちづくり株式会社の決算は4月から翌3月なのか。

政氏商工観光課長:決算は1月から12月である。

浅野委員:役員報酬の平均額を教えてください。パートの方は物価高騰で苦勞している。従業員にも手厚い配慮をお願いしたい。

政氏商工観光課長:役員報酬の平均は、1人あたり540万円となる。

川口副市長:道の駅の黒字化は難しいことであり、多くの自治体でも赤字補填をしている。羽咋まちづくり株式会社が、黒字を出している点は評価している。売上が減ったように見えるのは、ふるさと納税の委託料が減ったためである。しかし、今年度は売上を伸ばす計画である。役員報酬は他の企業に比べて特に高額ではない。従業員に関しては正社員が多く、地元雇用に貢献している。一部アルバイト等を活用し経費削減に努める必要がある。また、広告宣伝費を減らし、外部の大きなイベントへの支出も抑える予定である。震災の影響もあり、売上が大きく減少したが、事業所の弁当など一部の商材は好調だった。道の駅は三セクであり、地域活性化や雇用促進を目的に、引き続き連携しながら運営していく。

浅野委員:羽咋市のふるさと納税の目標は、宝達志水町と比較して低いのでないか。

川口副市長:羽咋市のふるさと納税額はここ3年間で約5億円程度であり、プロポーザルを実施し、今後は新しい会社とともに納税額を増やす計画である。また、道の駅が地域の商品開発の役割を果たすことから、今後は新しい会社と連携して納

税額を上げる取り組みを行う。今後は10億円を目指して取り組む予定である。

浅野委員:ふるさと納税の返礼品として重要な米を確保する施策を検討すべきだ。

政氏商工観光課長:JAや個人農家、民間事業者と連携し、返礼品の充実を図りたい。

櫻井委員:道の駅の経営について、利益剰余金が3,200万円程あるが、今後も赤字になる可能性はある。利益剰余金を過信せず、注意深く運営していただきたい。

川口副市長:道の駅は羽咋市が半分以上出資しており、地域活性化を目指し、利益を出すことが重要である。また、従業員や生産者、出品者に還元することも重要であり、地域の事業者を支援する意味もある。地域全体で進めていきたい。

寺井委員:神子原米について、JA倉庫の老朽化により、倉庫の建て替えを早急に行う必要がある。倉庫の建設予定場所はどこか。

山本農林水産課長:現在、神子原米約30トンのうち、10トンはトイレ横の建物に、残りの20トンはJA倉庫に保管されている。新たな倉庫の場所については、今後、神子原米の生産量等を考慮して、決定していきたい。

寺井委員:担い手の高齢化も考慮し、地域と協力し、早急に倉庫を整備していただきたい。

山本農林水産課長:神子原米の生産量を増やす方法や担い手の問題について、地域の農業者と協議を進めていく予定である。また、ふるさと納税用の米の確保についても、農業者や販売事業者と連携しながら取り組んでいく。

松田委員:道の駅の冷暖房の効きが悪い。商品が傷む原因にもなり、顧客満足度に悪影響を与える。道の駅の増築の設計時に冷暖房の効率を検証していただきたい。

政氏商工観光課長:来年度の設計段階で検討していきたい。

【その他の主な質問・答弁】

浜名委員長:先日の本会議における、新田議員の不登校に関する質問について、教育長から答弁をお願いする。

八島教育長:不登校の増加については、子ども達が楽しく過ごし、学びの環境が整っていることが大切である。学校行事や学級づくり、友達関係の構築により、楽しい学びの場を提供することができる。不登校の原因は、人間関係や学習の遅れ、家庭の問題などがある。羽咋市では不登校の割合は全国平均より低く、増加傾向ではないと考えている。オンライン学習やフリースクールなど、多様な学びの機会を提供することが大切である。

新田委員:災害復旧に関する実施計画はいつできるのか。

前田産業建設部長:復興実施計画は昨年12月に策定し公表されているが、この計画には町会ごとの具体的な工事時期は含まれていない。議会での要望を受け、復旧見通しが見える化した資料を、ホームページに掲載し、町会にも提供する予定である。

川口副市長:財政面では、国の支援により災害復旧のハード面の実質負担は少ないと認識している。また、市の独自支援策である、被災者や事業者への加算支援金、地域の神社や会館の復旧支援などは真水である。今後は災害に強いまちづくりを進める必要があり、学校や体育施設の空調設備整備なども予算化されており、計画的な進行が重要である。

松田委員:液状化地域の地下水位低下工法に関して、ランニングコストは国の補助がない。解決策や知見を求めるべきだ。次に、西北台小学校跡地利用に関して、地域と行政の提案を協議し、サウンディング調査を行ってはどうか。跡地の長期的管理等のためには早期に進めることが重要である。

川口副市長:市長が本会議で述べたとおり、地域の意見を聞きながら検討を進める方針である。令和7年度中は円滑な統合を進め、その後、跡地利用について検討し、意見を広く集めていく。

松田委員:閉校になると行政財産として管理しなければならない。設備も使わない期間が長いほど使えない状態になる。早期に運営すればプラスに働く。前向きに調査をしていただきたい。

川口副市長:わかりました。

浅野委員:西北台小学校跡地について、地域の視点を大切にしつつ、広い視野で羽咋市の未来に役立つ活用方法を模索するべきだ。

松田委員:補正予算の減額補正について、緩衝帯整備事業やみどりの食料システム戦略対策事業の予算が減少しているが、これは事業が実施されなかったのか。

山本農林水産課長:みどりの食料システム戦略対策事業については、震災の影響で事業がずれ込み、実際に使った額は少なく減額補正した。緩衝帯整備事業については、地域での合意が得られず、事業が実施できなかった。緩衝帯は一定の距離が必要なため、一部の方の希望だけでは事業は実施できない。令和7年度は、実施できそうな地域を絞って予算を計上した。

松田委員:西北台地区はイノシシ被害が深刻である。緩衝帯により被害防止が期待できる。

山本農林水産課長:西北台地区におけるイノシシの問題は認識しており、取り組んでいけたらと考えている。

浅野委員:農業に関して、竹を使ったハウスは、金属よりも強く安価である。中能登町でモデルハウスを作り、その技術を地域の方々に教える計画がある。羽咋市でも取り組んではどうか。

山本農林水産課長:今後そのような機会があれば検討する。

浜名委員長:先日の議会の一般質問に関連して、浅野議員からのハラスメントの質問について教育長の答弁を求めます。

八島教育長:ハラスメントと受け止められないような対応が大切であると考えている。ハラスメントは、個人の様々な要因が影響し、ちょっとした言葉や指導が不快に取られることがある。ハラスメントと受け止められないように率先垂範する姿勢が大切だと思っている。

令和 7 年第 2 回羽咋市議会定例会議案付託表

産業文教常任委員会

番 号	議案番号	議 件
1	議案第 1 5 号	羽咋市スポーツ推進審議会条例の制定について
2	議案第 2 7 号	羽咋市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準等に関する条例の一部改正について
3	議案第 2 8 号	神子原農林水産物加工販売施設の指定管理者の指定について

令和 7 年第 2 回羽咋市議会定例会議案報告表

産業文教常任委員会

番 号	議案番号	議 件
1	報告第 2 号	法人の経営状況の報告について